

交換留学帰国報告書

記入 | 2019 年 6 月
所属 & 学年 | 工学研究科 M2
卒業予定 | 2020 年 3 月

留学先大学	インド科学大学院大学 Indian Institute of Science
留学先国	インド共和国
留学期間	約 10 ヶ月 （修士 2 年次に留学）
留学開始－終了	2018 年 8 月 1 日 － 2019 年 5 月 15 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

- ①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

新製品を作る上で必要な技術マネジメントを学習したく、またこれからの消費の中心になる国で現在、存在感のある企業やその国に対するその会社の役割などを実際に目にしたかったためです。

- ②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

メーカーに勤務しておりましたが、新製品の開発手順や顧客候補への提案の仕方など、明確な道筋が上から示されず、場当たりの対応ばかりを繰り返しており、一度それらについて体系的に勉強したいと思っておりました。名大で専攻している分野に加えて、それら技術や製品開発というものにどう取り組んだらよいかを整理して取り込むことで理解が深めるために機会を求め、応募いたしました。

- ③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
フィリピン	修士 1 年	英語学習

- ④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

語学試験（TOEFL iBT）の準備は書類締め切りの 1 年以上前から取り組み、提出期限前 4 か月は集中的に毎日 2 時間過去問を解きました。志望動機などの書類の準備は提出期限の 1 か月前から準備を始めました。

- ⑤海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

3～4 回相談しました。志望校と留学協定を結んでいても全てのコースで名大生を受け入れてくれるわけではないので、希望する大学のコースでの受け入れの可否を調べていただきました。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

M1 時の書類提出期限の3か月前から3週間ごとに合計3回受けました。77、79、82点と回数を重ねるごとにスコアが上がりました。それまでのTOEFL自己最高は59点でしたが、大学院入学前にフィリピンでTOEFL対策の学校に2週間通い、そこで学んだ受験テクニックがTOEFLスコアを押し上げてくれたように感じます。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関してのアドバイスをお願いします。

名大では学べない分野の科目を履修したので、単位互換はしていませんが、大学院生の場合は出発前に指導教員の先生と、帰国後の単位の扱いについて合意を作っておく必要があると思います。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

MG201 Managerial Economics 週3時間、講義、ミクロ経済学にインドにおける労働の実情を加味したもの
 MG212 Behavioral Science 週3時間、講義とグループワーク、行動科学の基本と、マネジメントにおいて行動に対しての顧客や同僚の反応をどう解釈するかを理解する
 MG232 Principles of Management 週3時間、講義、マネジメントの分類と専門用語について
 MG246 Customer Segmentation and Insight 週3時間、講義、顧客の定義と探し出すための手順、そして彼らが持っている製品やサービスについての潜在的な要求の具現化の方法について
 MG 271 Technology Management 週3時間、講義、技術や製品開発においてチーム運営に必要な考え方と事例について
 NE250 Entrepreneurship, Ethics and Social Impact 週1時間、講義、スタートアップ企業を起こす上で求められる基礎知識と実際の経営者による経験談
 MG211 Human Resource Management 週3時間、講義、人材の採用、開発、つなぎ止めるの方法とインドの労務関連法令について
 MG241 Marketing Management 週3時間、講義、マーケティングの基本的な手順と事例を詳しく解説した論文の輪読
 MG277 Public Policy Theory and Process 週1.5時間、講義、公共政策が企業活動に与える影響と各自の興味のある分野についての事例紹介プレゼン
 MG281 Management of Technology for Sustainability 週3時間、講義、持続可能な境を築く上での技術革新が果たしてきた役割と現在インドが面している課題について、また各自の興味のあるトピックについてプレゼン
 NE200 Technical Writing and Presentation 週1.5時間、講義、技術文書の作成時に避けるべきマナーの解説と各自の興味があるトピックについてのアブストラクト、イントロダクション、レビューの形式で文書作成、提出

履修の可否は担当教員に全て直接リクエスト

②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

授業中に発言するためには予習が必要ですが、この学校では期末試験の点数が50%のウエイトを占めます。期末試験で点数を取るためには、授業後に教科書、ノート、配布資料

で毎回復習をすることが大事でした。試験前の期間には、タームペーパーやグループワーク、そのプレゼンの準備も複数の科目で重なってくるため、まとまった勉強時間とることができませんので、空いている時間は復習に取り組むといいと思います。

③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

当初、英語で自分の意見を述べるのがスムーズにはできませんでしたが、スカイプでのオンライン英会話に申し込み、毎日続けることで2学期目の後半には短い時間で意見をまとめることができるようになりました。また、Your English is not clear. I'm not sure what you mean.など留学先で何度も言われましたが、それに臆せず繰り返し説明を続けることが大事だと思います。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

インド人とは外見が異なり、外国人だとすぐに分かるので学内でも顔見知りでない人からもフレンドリーに声を掛けられます。インドの歴史について大変理解の深い人もおり、興味深い話を聞かせてもらうこともありました。時間に関しては現地の人は遅刻してくるのが当たり前ですので、約束されている通りに行動すると驚かれます。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

私の留学先では交換留学生は正規のIDが与えられないので学内のLANに接続することができず、インターネットへの接続はすべて携帯電話経由でした。論文のダウンロードは、名大図書館のサイト経由で行うことができたので大変助かりました。休講や授業時間変更の案内も正規の学生向けのEメールIDにしか送られません。滞在した寮では、お湯が12月と1月にしか供給されないため、それ以外の期間の入浴は水で行いました。学内にスーパーマーケットがあるので、食料や飲み物は学外に出ずとも調達できました。日用品については、ニベア、ユニリーバ、GSKなどの商品が広く売られているので、日本と同等の品質のものが使えると思います。夜間は、学内でも無灯火で走るバイクや自転車がかかり多いので、寮外を歩く際には十分な注意が必要です。また、停電も頻繁におき8時間以上に及ぶこともあるので、課題や宿題などはできるうちに手をつけるのがよいです。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

北インド料理、南インド料理を扱う学内の食堂があり、それぞれベジタリアン向け、ノンベジ向けに分かれています。自室から一番近い北インドノンベジ料理の食堂を、ともに使っていた同じクラスの3人と仲良くなり、インド料理の名前や習慣などについて教えてもらいました。また、日本のことについて自分が説明したいことが十分に伝わらない場合には、YouTubeでその物やサービスを外国人が紹介している動画を見せて理解してもらいました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

休日は、自分の嗜好に合った辛い物を提供しているレストランを探して外出したりしました。長期休暇は、薬や食べ物などを調達するために一時日本に帰国しました。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

現地の現金は特に汚く、またほとんどの飲食店で薬用せっけんが置いてあるので、現金に触れた後や食事の前には毎回入念に手洗いをしました。プラスチック製の食器は砂埃など

で汚れている場合があるので、給仕から受け取る際には十分注意を払うべきです。3 月から気温が極めて高くなり、夜でも壁が熱を持つため室内でも 35 度になる日が続きますので薬局で Oral Rehydration Salt を買って水分補給に努めてました。

火災報知器など安全を保つための設備が整っておらず、滞在期間中に学内で爆発事故もありました。実験などを目的に留学を考えている方は、自己による管理以外にも安全設備面についての事前確認も必要かと思います。

<https://www.thehindu.com/news/cities/bangalore/laboratory-accident-at-iisc-kills-one-injures-three/article25671763.ece>

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

学内で犬に噛まれた際に、学内にある病院へ連れて行ってもらいました。しかしながら、私は正規の学生ではないので診察のみで、狂犬病ワクチンの注射は提供出来ないと言われて一度断られてしまいました。しかしながら、同行したチューターが、すでに犬に噛まれているのに処置が受けられないのはおかしい、と粘って交渉してくれました。そのおかげで、病院にある在庫からワクチンを提供してもらい、使用分を学外の薬局（ラマイア病院）で新たに購入して返す（1700 ルピー）という内容で話をまとめてくれました。負傷後の医療サービスを含めて、留学生のサポートは属人的で、渡航先校のシステム全体としては十分ではないと感じました。

③加入した保険の種類について教えてください。

☐ 留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

☒ 個人の保険のみ

☐ キャンパス保険と個人の保険の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

☒ はい（種類：DPT、A 型肝炎、B 型肝炎、日本脳炎、狂犬病、腸チフス、MMR、水痘）

☐ いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

学内にも野良犬が極めて多く、中には刺激をしていなくとも吠えながら追いかけてくるような犬もいます。私も一度噛まれましたが、インドでは犬に噛まれるはすなわち狂犬病にかかるのと同義と認識されていますので、チューターが慌てて病院に連れて行ってくれました。現地の人はほどその不衛生さを正しく認識しているので、傷を負ったりした際には、ためらわずに適切な処置を受けに行くべきです。また、現地の学生は甘いものを好むので、日本の小分けされたお菓子が喜ばれましたが、宗教的理由で肉食を避けている人は、卵を使っているものを食べることもできませんので、何か差し上げる際には原材料に注意が必要です。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

乾季は大気汚染が特にひどく、のどの痛みや目のかゆみを覚えたので、マスク、うがい薬、洗眼液や目薬は持参すべきです。現地の料理は、ほぼ辛い物ですので避けたい日には、ふりかけやお茶づけのもとがあると食事の選択肢が広がります。最も寒い時期でも、最低気温が 15 度を下回ることがないので、冬物の衣料は不要でした。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

BMTC Bus Route Search https://narasimhadatta.info/bmtc_query.html
BMTC の公式サイトよりもバスの行き先番号とルートについて理解しやすい
天気予報 http://www.imd.gov.in/pages/city_weather_main.php

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

現地での滞在費は物価が安い国ですので、食事や交通費などは大きな金額になりませんが、事前の保険や予防接種の費用が思いのほかかさみます。

- ②奨学金はもらっていましたか？

☒はい （奨学金名：JASSO 海外留学支援制度 支給額：毎月 6 万円）

☐いいえ

- ③差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	20 万	2 往復分
保険代	23 万	
予防接種・ビザ代	12 万	6 万円×2 回
住居費	11 万	食事含む
外食など	15 万	
航空小包	8 万	

F. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☐進学

☒就職

☐その他（ ）

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

卒業後は、分野は定めておりませんが再度メーカーに就職し、新興国で求められている製品を作る仕事に携わりたいと考えております。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

F.留学を終えて感じること

①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

長い期間新興国で暮らし、勉強をする機会がいただけたことは大変貴重な経験でした。顔なじみでなくともフレンドリーに接したり、他人を敬う気持ちを相手に伝えるように態度に示したりというのはインドの人の特徴で、見習って実践していきたいと感じる点でした。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

マーケティングの授業で学んだ内容から、外国人が日本のメーカーに対して感じているイメージについて考えるようになりました。特にインド人の間では、様々な日本のブランドに対して、丈夫で正確ととらえられており、その点についてはこれからも損なってはいけないものだと感じました。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

私の経験から、企業に入ってしまうと、本人の希望通りの条件で海外の工場に赴任できる、海外とのプロジェクトに参加できるという人は限られたごく一部だと感じておりました。学生時代に留学を経験することで、そういった仕事の機会を社会人生活の中でつかみ、自らの能力やキャリアを有意に築いていってほしいと思います。

◆自由記述欄◆

渡航先の大学や留学の様子がわかる写真（メール添付でも可）があれば下記へ。この報告書はウェブや印刷物として公開する予定ですので、被写体の人物へ使用についてあらかじめ確認をお願いします。

↓↓↓







以上